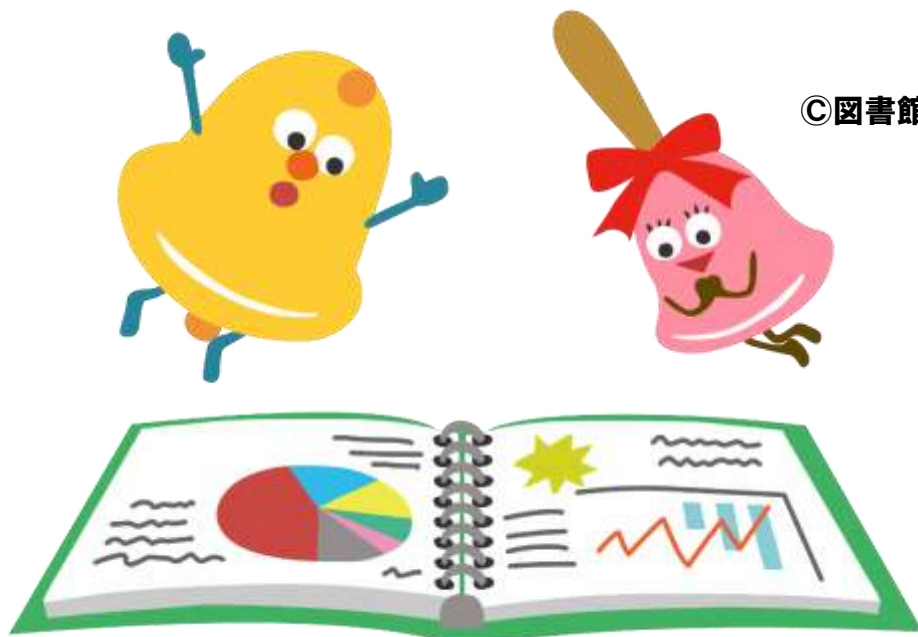


しらべるがくしゅうの すすめかた

しらべるがくしゅうのステップ

- ① けいかくをたてよう
- ② しらべてきろくしよう
- ③ まとめてさくひんにしよう



©図書館振興財団

ステップ① けいかくをたてよう

しらべるやりかたをかんがえる



いつ、どうやってしらべるか、やりかたをかんがえてみる。

いつ？	・しらべる日 ・しらべるのにどのくらいかかるか ・まとめおわる日
どうやって？	・かんさつする ・人にきく ・本をさがす ・インターネットでしらべる ・はくぶつかんや、かがくかんに行く など

いくつかのやりかたをやってみるといいですね。

ステップ② しらべてきろくしよう



©図書館振興財団

(1) としょかんの本のさがしかた

- ・「本だなあんないず」を見て本だなでさがす
- ・としょかんの人にきく
- ・インターネットのとしょかんホームページでさがす

きろくカードのれい

しらべたいこと	
わかったこと	
つけたしりょう	本のなまえ： ページ：

(2) しらべたことをきろくする

「きろくカード」をつかってみよう！

- ・あとでじぶんが見て、わかるように書きます。
- ・絵にかくとわかりやすいですよ。
- ・こまったことやわからないことは、おとなの人にそうだんしましょう。
- ・いえの外でかんさつするときは、なん月なん日・じかん・ばしょ・てんき・などをきろくします。
- ・しゃしんをとっておくといいですよ。しゃしんをとらせてもらう人に、とっていかどうかをききましょう。

ステップ③ まとめてさくひんにしよう

(1) まとめかたをかながえる

なににまとめるか ・レポートようし ・ もぞうし ・ ポスター など
しゃしんをはったり、絵や図をかくとわかりやすいですよ。

©図書館振興財団

まとめかたのれい

- ・「きろくカード」をならべて、しらべてきたじゅんばんにまとめる。
- ・お友だちにおしえてあげるきもちでかいてみましょう。
- ・きょうかしよのかきかたもヒントになります。



まとめるときにきをつけること

- ・本のなかの文しょうやことばをそのままつかうときは、ことばをかえずにそのままかいて「
か」をつけましょう。かいた人の文をそのままうつして、じぶんがかながえたように書いてはいけません。
- ・「
か」をつけた文しょうやことばは、どの本からかいたのか本のなまえ、ページなどをかならずかきましょう。

なにをかいてまとめるか（はじめ・なか・おわり・かんせい）

はじめ	① なぜそのことをしらべようとおもったのか ② しらべるまえにかながえたこと（よそうしたこと） ③ どんなやりかたでしらべたのか
なか	④ しらべてわかったこと
おわり	⑤ いちばんしらべたかったことはわかったのか（よそうとのちがいなど） ⑥ しらべたあとのかんそう
かんせい	⑦ しらべるときにつけた本などをかく（「さんこうぶんけん」といいます） ⑧ タイトルをつくる ⑨ もくじをつくる（どのページになにかかいてあるのかがわかります） ⑩ ひょうしにタイトル・じぶんのなまえ・がくねんをかく

保護者の方へ

- ※ 調べるときに使った本など（参考文献）の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concoirs.toshokan.or.jp/>の「応募要項」「参考文献リストの書き方」を御覧ください。
 「参考引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。